Sustainable Remediation コンソーシアム 第1回 研究会のご案内

Sustainable Remediation(SR)とは、環境面の負荷を低減しつつ、社会面、経済面を含めてバランスのとれた土壌汚染対策の意思決定を実践していく概念です。

国際的には、国際組織 SuRF(Sustainable Remediation Forum)が設立され、ASTM の規格化、 さらには ISO/TC 190 における国際標準化が進められるなど、SR の考え方についての国際規格化・標準化の動きが活発化しています。

これまで産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門は、東京都環境局と Green Remediation (GR)の評価ツールの開発、「土壌汚染対策における環境負荷評価手法ガイドライン（2015 年 3 月）」の策定等を進めるとともに、ISO/TC 190 における SR の規格化への参画などの取組をして参りましたが、SR の概念の包括的な整理、我が国におけるあり方の議論はされていない状況でした。

このような背景を受け、日本国内における SR の必要性、あり方を議論する国内研究会の必要性、さらには国際的な組織への参画について議論をする場として、SR コンソーシアムを設立いたしました。コンソーシアムでは、年 2-3 回程度の研究会の開催、会員への SR に関する情報発信、SuRF への参画を進めるとともに、WG で SR に関する議論を進め、3 年を目安に我が国における SR のあり方について取りまとめることを目的としております。

この度、第 1 回の研究会を下記の通り開催させて頂きますので、ご案内させて頂きます。

■日時：６月７日 13 時 30 分～18 時 00 分（受付開始：13 時より）

■場所：AP 秋葉原 4 階：I+J 室 秋葉原駅徒歩 5 分（最終ページをご覧ください。）

■主催：Sustainable Remediation コンソーシアム（産総研コンソーシアム）

コンソーシアム HP：https://staff.aist.go.jp/t.yasutaka/SRCons/SRConsortium_index.html

■参加費：

・個人会員：無料

・法人会員：１社 5 名まで無料（法人会員の確認は、上記 HP もしくは下記連絡先までお問合せ下さい。）

※1 社 6 名以上参加希望の場合、6 名以上の方は締め切り後、空席がございましたら無料でご参加頂けます。別途ご案内を致します。

・省庁・自治体等の方：無料でご参加いただけます。

・非会員で参加希望の方：

H28 年度の個人会員にご入会（年会費 3000 円）頂く必要がございます。

１年限りの入会でも結構です。会員は本年度の残りの研究会にもご参加頂けます。

入会方法：https://staff.aist.go.jp/t.yasutaka/SRCons/SRConsortium_guide.html

内容や領収書発行等は、お気軽に SusRemC@aist.go.jp までお問合せ頂ければと思います。

■担当：産総研 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 保高徹生

■参加申込み：表題に「SR コンソ 第 1 回研究会 参加希望」と記載の上、5 月 31 日までに SusRemC@aist.go.jp までメールをお送りください。（先着順とさせて頂きますので、申し込み人数を超えた場合には、お断りをさせて頂く可能性がございます。 ）

Sustainable Remediation コンソーシアム　第1回　研究会　プログラム

趣旨説明（保高徹生氏：産総研）　13 時 30 分～40 分

1 部:総論と国際動向　司会:中島誠氏（国際航業）

１. 特別講演:日本の土壌環境施策からみた SR（平田健正氏:放送大学和歌山学習センター）

13 時 40 分～14 時 10 分

２．SR コンソーシアムの取組と諸外国や国際規格の動き（保高徹生氏：産総研）

14 時 10 分～14 時 35 分

３．最新の国際動向（2016 SustRem Conference 報告）（古川靖英氏：竹中工務店）

14 時 35 分～14 時 50 分

休憩

2 部:我が国の SR への取組み事例　司会:張銘氏（産総研）

４．土壌環境センターの SR への取組み（仮題）（高畑陽氏：土壌環境センター）

15 時 00 分～15 時 30 分

５．東京都の GR の取り組みについて（仮題）（講演者未定：東京都環境局）

15 時 30 分～16 時 00 分

休憩

3 部:各分野から見た SR の可能性、日本における SR の目的

６. ブラウンフィールド再開発における持続可能性と諸外国の取組（黒瀬武史 氏:九州大学）

16 時 10 分～16 時 40 分

７．事業者の視点から見た持続可能性の取り組み　（巣山廣美氏：昭和シェル 石油）

16 時 40 分～17 時 05 分

休憩

4 部:まとめと総合討論:　17 時 15 分～17 時 45 分:司会:保高徹生（産総研）

・日本における GR／SR の可能性と課題

・SR コンソーシアムの WG 活動について

会場案内

https://www.tc-forum.co.jp/kanto-area/ap-akihabara/ak-base/

所在地・電話番号

〒110-0006　東京都台東区秋葉原１番１号

秋葉原ビジネスセンター １・４・５階(受付１階)

Tel： 03-5289-9109

交通アクセス

JR 各線・つくばエクスプレスをご利用の場合

「秋葉原駅」中央改札口より徒歩約５分

東京メトロ日比谷線をご利用の場合

「秋葉原駅」２番出口より徒歩約５分

東京メトロ銀座線をご利用の場合

「末広町駅」１番出口より徒歩約５分

都営新宿線をご利用の場合

「岩本町駅」A3 出口より徒歩約８分